

積算基準	土木
現場中間検査	不要
工場等派遣中間検査	不要
樹木保険加入	不要

# 工事設計書

事業年度	令和 8年度				
設計年月	令和 年 月				
予算科目	款	項	目	節	
工事場所	京都市北区上賀茂毛穴井町他地内				
路線名又は河川名等					
工事名	志久呂橋他 2 橋補修工事				
工期	契約日の翌日から令和 9年 3月15日まで				
事業課(所)名	橋りょう健全推進課	単価使用年月	令和 年 月		
工事番号		歩掛適用年月	令和 年 月		
変更回数		基準適用年月	令和 年 月		
主工種		単価地区			
前払金支出		調整区分			

京都市 建設局

チェック欄

工事概要

補修橋りょう			橋	3	
志久呂橋	m	51	うら川橋	m	3.2
上区田尻谷線4号橋	m	9.4			

施工理由

本工事は、志久呂橋他2橋において、「いのちを守る橋りょう健全化プログラム」に基づき老朽化修繕を行うことにより、安全・安心な市民生活の実現に向けた道路ネットワークの確保を図るものである。

		設計額		請負額	
		金額	増減額	金額	増減額
工	事	前回	円	円	円
		今回	円	円	円
内	工事価格	前回	円	円	円
		今回	円	円	円
訳	消費税相当額	前回	円	円	円
		今回	円	円	円
支	給品費	前回	円	円	円
		今回	円	円	円

京都市 建設局

# 積算参考資料（間接費補正一覧）（志久呂橋）

単価使用年月	2026年5月	
歩掛適用年月	2026年5月	
基準適用年月	2026年5月	
単価地区		
調整区分	施工箇所点在	
現場環境改善費（率計上）		
市街地補正	市街地	
共通仮設費（率計上）		
主たる工種	12:橋梁保全工事	
施工地域等補正	市街地（DID補正）（1）-1	1.4
I C T 施工補正	補正なし	1.0
週休2日補正	補正なし	1.00
現場管理費		
施工地域等補正	市街地（DID補正）（1）-1	1.2
I C T 施工補正	補正なし	1.0
週休2日補正	補正なし	1.00
一般管理費		
前払金支出割合による補正	補正を行わない	1.00
財団法人等による補正	補正を行わない	1.00
契約保証に係る補正率	金銭的保証	0.04%

# 積算参考資料（間接費補正一覧）（うら川橋）

単 価 使 用 年 月	2026年5月	
歩 掛 適 用 年 月	2026年5月	
基 準 適 用 年 月	2026年5月	
単 価 地 区		
調 整 区 分	施工箇所点在	
現場環境改善費（率計上）		
市 街 地 補 正	市街地	
共通仮設費（率計上）		
主 たる 工 種	12:橋梁保全工事	
施 工 地 域 等 補 正	市街地（DID補正）（1）-1	1.4
I C T 施 工 補 正	補正なし	1.0
週 休 2 日 補 正	補正なし	1.00
現場管理費		
施 工 地 域 等 補 正	市街地（DID補正）（1）-1	1.2
I C T 施 工 補 正	補正なし	1.0
週 休 2 日 補 正	補正なし	1.00
一般管理費		
前払金支出割合による補正	補正を行わない	1.00
財団法人等による補正	補正を行わない	1.00
契約保証に係る補正率	金銭的保証	0.04%

# 積算参考資料（間接費補正一覧）（上区田尻谷線4号橋）

単 価 使 用 年 月	2026年5月	
歩 掛 適 用 年 月	2026年5月	
基 準 適 用 年 月	2026年5月	
単 価 地 区		
調 整 区 分	施工箇所点在	
現場環境改善費（率計上）		
市 街 地 補 正	市街地以外	
共通仮設費（率計上）		
主 たる 工 種	12:橋梁保全工事	
施 工 地 域 等 補 正	補正無し（地方部 施工場所が一般交通等の影響を受けない場合）	1.0
I C T 施 工 補 正	補正なし	1.0
週 休 2 日 補 正	補正なし	1.00
現場管理費		
施 工 地 域 等 補 正	補正無し（地方部 施工場所が一般交通等の影響を受けない場合）	1.0
I C T 施 工 補 正	補正なし	1.0
週 休 2 日 補 正	補正なし	1.00
一般管理費		
前払金支出割合による補正	補正を行わない	1.00
財団法人等による補正	補正を行わない	1.00
契約保証に係る補正率	金銭的保証	0.04%

## 積算参考資料（間接費補正一覧）（全体）

単 価 使 用 年 月	2026年5月	
歩 掛 適 用 年 月	2026年5月	
基 準 適 用 年 月	2026年5月	
単 価 地 区		
調 整 区 分	施工箇所点在	
現場環境改善費（率計上）		
市 街 地 補 正	市街地	
共通仮設費（率計上）		
主 たる 工 種	12:橋梁保全工事	
施 工 地 域 等 補 正	市街地（DID補正）（1）－1	1.4
I C T 施 工 補 正	補正なし	1.0
週 休 2 日 補 正	補正なし	1.00
現場管理費		
施 工 地 域 等 補 正	市街地（DID補正）（1）－1	1.2
I C T 施 工 補 正	補正なし	1.0
週 休 2 日 補 正	補正なし	1.00
一般管理費		
前払金支出割合による補正	補正を行わない	1.00
財団法人等による補正	補正を行わない	1.00
契約保証に係る補正率	金銭的保証	0.04%



見積参考資料（細別単価）

積算で採用した見積等の単価は下表のとおりです。

工種	種別	細別	規格・条件	単位	単価(円)	備考
橋梁補修工	鋼材防食工	高機能長耐久性防食防水テープ	横桁部	m2	102,600	志久呂橋
橋梁補修工	鋼材防食工	高機能長耐久性防食防水テープ	支承部	m2	130,600	志久呂橋
橋梁補修工	鋼材防食工	廃材収集運搬		回	70,000	志久呂橋
橋梁補修工	鋼材防食工	廃材処分	廃材種別：ケレンかす(防護服及びシート類等含む)、鉛溶出量基準値10倍以下	m3	80,000	志久呂橋 管理費区分：T
橋梁補修工	漏水対策工	ステンレス可とう管設置		m	8,701	志久呂橋
共通仮設費	技術管理費	塗膜溶出量試験費	試験項目：鉛、クロム、検体数：各1検体	式	39,000	志久呂橋 管理費区分：9

## 見積参考資料

積算に準用した市販図書等の積算基準は下表のとおりです。

準用積算基準		発行機関	計上した細別	備考
図書名	発行年月等			
橋梁架設工事の積算	令和7年度版	(一社) 日本建設機械施工協会	無収縮モルタル	志久呂橋
橋梁架設工事の積算	令和7年度版	(一社) 日本建設機械施工協会	高力ボルト本締	志久呂橋
橋梁架設工事の積算	令和7年度版	(一社) 日本建設機械施工協会	吊足場	志久呂橋
橋梁架設工事の積算	令和7年度版	(一社) 日本建設機械施工協会	片側朝顔防護足場	志久呂橋
橋梁架設工事の積算	令和7年度版	(一社) 日本建設機械施工協会	鉄筋探査(上向き)	志久呂橋

# 設計内訳書 (志久呂橋)

工事名	志久呂橋他2橋補修工事				事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
橋梁保全工事		式	1				
橋梁補修工		式	1				
ひび割れ補修工		式	1				
充てん工法	1構造物当り補修延べ延長:34m, 材料種類:可撓性エポキシ樹脂系	構造物	1				単 1号
低圧注入工法	1構造物当り補修延べ延長:25m未満, 材料種類:エポキシ樹脂系	構造物	1				単 2号
断面修復工		式	1				
左官工法	1構造物当り修復延べ体積:0.96m <sup>3</sup> , 材料種類:ポリマーセメントモルタル, 鉄筋レン・鉄筋防錆処理:有り	構造物	1				単 3号
コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)		m <sup>3</sup>	1				単 4号
殻処分	コンクリート塊(無筋)	m <sup>3</sup>	1				単 5号
沓座モルタル整形工		式	1				
無収縮モルタル	極小規模	m <sup>3</sup>	0.036				単 6号
高力ボルト本締工		式	1				
高力ボルト本締	極小規模、トリア角高力ボルト(S10T) M22×115 1組、M22×85 2組	本	3				単 7号

# 設計内訳書 (志久呂橋)

工事名	志久呂橋他2橋補修工事				事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
鋼材防食工		式	1				
高機能長耐久性防食防水テープ	横桁部	m2	0.9				単 8号
高機能長耐久性防食防水テープ	支承部	m2	14				単 9号
廃材収集運搬		回	1				単 10号
廃材処分	廃材種別：ケレンかす(防護服及びシート類等含む), 鉛溶出量基準値10倍以下	m3	1				単 11号
防護柵補修工		式	1				
横断防止柵撤去		m	6				単 12号
現場発生品積込・荷卸・運搬		t	0.05				単 13号
スクラップ	ヘビーH3	t	-0.05				単 14号
横断防止柵設置		m	6				単 15号
縁石補修工		式	1				
構造物とりこわし・運搬・処分	歩車道境界ブロック	m3	0.03				単 16号 低騒音・低振動対策：不要
歩車道境界ブロック	ブロック規格：A種(80型)	m	3				単 17号

# 設計内訳書 (志久呂橋)

工事名	志久呂橋他2橋補修工事				事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
排水管補修工		式	1				
排水管設置		箇所	4				単 18号(概)
漏水対策工		式	1				
サト <sup>レ</sup> ・ド <sup>レ</sup> ン設置		m	36				単 19号(概)
レック <sup>レ</sup> ・ド <sup>レ</sup> ン設置		m	3				単 20号(概)
ステンレス可とう管設置		m	20				単 21号
仮設工		式	1				
足場工		式	1				
吊足場 (参考数量)	桁高h<1.5、足場の供用期間：1.5ヶ月、橋梁路面からの搬出入	m2	63				単 22号
片側朝顔防護足場 (参考数量)	足場の供用期間：1.5ヶ月、橋梁路面からの搬出入	m2	86				単 23号
単管足場 (参考数量)	単管傾斜足場、安全ネット：必要	掛m2	32				単 24号
枠組足場 (参考数量)	手摺先行型枠組足場、安全ネット：必要	掛m2	24				単 25号
暴露対策工		式	1				

# 設計内訳書（志久呂橋）

工事名	志久呂橋他2橋補修工事				事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
負圧集塵機 (参考数量)	FSK-500(約12m3/min)同等品以上	橋	1				単 26号(概)
エアシャワー (参考数量)		橋	1				単 27号(概)
セキュリテイルーム (参考数量)		橋	1				単 28号(概)
真空掃除機 (参考数量)		橋	1				単 29号(概)
交通管理工		式	1				
交通誘導警備員	B	人日	58				単 30号
概略発注工		式	1				
概略発注工		式	1				
概略発注工		式	1				
概略発注工 設計内訳書の区分別の概略発注工 を除く直工の40.2%以内		式	1				(概)を参照
直接工事費		式	1				
共通仮設		式	1				
共通仮設費		式	1				

# 設計内訳書 (志久呂橋)

工事名	志久呂橋他2橋補修工事				事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
安全費		式	1				
鉛等呼吸用保護具等費用		式	1				内 1号
技術管理費		式	1				
塗膜溶出量試験費	試験項目：鉛、カドム、検体数：各1検体	式	1				内 2号
鉄筋探査（上向き）	極小規模	m2	1				単 31号
現場環境改善費		式	1				
現場環境改善費（率計上）		式	1				
共通仮設費（率計上）		式	1				
純工事費		式	1				
現場管理費		式	1				
工事原価		式	1				
一般管理費等		式	1				
工事価格		式	1				



# 設計内訳書（うら川橋）

工事名	志久呂橋他2橋補修工事				事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
橋梁保全工事		式	1				
橋梁補修工		式	1				
ひび割れ補修工		式	1				
充てん工法	1構造物当り補修延べ延長:20m未満, 材料種類:可 撓性エポキシ樹脂系	構造物	1				単 32号
断面修復工		式	1				
左官工法	1構造物当り修復延べ体積:0.36m3, 材料種類:ポリマ ーセメントモルタル, 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理:有り	構造物	1				単 33号
コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)		m3	0.4				単 34号
殻処分	コンクリート塊(無筋)	m3	0.4				単 35号
水切り設置工		式	1				
水切り設置	20m未満	m	5				単 36号(概)
仮設工		式	1				
交通管理工		式	1				
交通誘導警備員	B	人日	11				単 37号

# 設計内訳書（うら川橋）

工事名	志久呂橋他2橋補修工事				事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
概略発注工		式	1				
概略発注工		式	1				
概略発注工		式	1				
概略発注工 設計内訳書の区別の概略発注工 を除く直工の0.7%以内		式	1				(概)を参照
直接工事費		式	1				
共通仮設		式	1				
共通仮設費		式	1				
現場環境改善費		式	1				
現場環境改善費（率計上）		式	1				
共通仮設費（率計上）		式	1				
純工事費		式	1				
現場管理費		式	1				
工事原価		式	1				



# 設計内訳書（上区田尻谷線4号橋）

工事名	志久呂橋他2橋補修工事				事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
橋梁保全工事		式	1				
橋梁補修工		式	1				
断面修復工		式	1				
左官工法	1構造物当り修復延べ体積:0.57m <sup>3</sup> ,材料種類:ホリマセメントモルタル,鉄筋ケレン,鉄筋防錆処理:有り	構造物	1				単 38号
コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)		m <sup>3</sup>	0.6				単 39号
殻処分	コンクリート塊(無筋)	m <sup>3</sup>	0.6				単 40号
水切り設置工		式	1				
水切り設置	20m未満	m	19				単 41号(概)
仮設工		式	1				
足場工		式	1				
吊足場 (参考数量)	供用月数:0.6ヶ月、現場環境:橋梁路面から設置	m <sup>2</sup>	31				単 42号(概)
交通管理工		式	1				
交通誘導警備員	B	人日	18				単 43号

# 設計内訳書（上区田尻谷線4号橋）

工事名	志久呂橋他2橋補修工事				事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
概略発注工		式	1				
概略発注工		式	1				
概略発注工		式	1				
概略発注工 設計内訳書の区別の概略発注工 を除く直工の14.5%以内		式	1				(概)を参照
直接工事費		式	1				
共通仮設		式	1				
共通仮設費		式	1				
現場環境改善費		式	1				
現場環境改善費（率計上）		式	1				
共通仮設費（率計上）		式	1				
純工事費		式	1				
現場管理費		式	1				
工事原価		式	1				



# 一式当り内訳書

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内 1号	鉛等呼吸用保護具等費用							
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
	鉛等呼吸用保護具等費用		式	1				単 58号
	*							
	合計							

# 一式当り内訳書

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内 2号	塗膜溶出量試験費		試験項目：鉛、カド、検体数：各1検体					
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
	材料費 塗膜溶出量試験費_鉛 Y000800015015		検体	1				
	材料費 塗膜溶出量試験費_カド Y000800015018		検体	1				
	合計							

# 1次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 1号	充てん工法	1構造物当り補修延べ延長:34m, 材料種類:可撓性エポキシ樹脂系	単位	構造物	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	ひび割れ補修工(充てん工法)	20m以上, 34m, 4.6kg	構造物	1				単 44号
	WB229010							
	合計							
	単価							円/構造物

# 1次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 2号	低圧注入工法	1構造物当り補修延べ延長:25m未満, 材料種類:エポキシ樹脂系	単位	構造物	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	ひび割れ補修工(低圧注入工法)	25m未満, 0.2kg, 3.6kg, 59個	構造物	1				単 45号
	WB229110							
	合計							
	単価							円/構造物

# 1次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 3号	左官工法	1構造物当り修復延べ体積:0.96m3,材料種類:ポリマ -セメントモルタル,鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理:有り	単位	構造物	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	断面修復工(左官工法)	有り,0.1m3以上,0.96m3	構造物	1			単 46号	
	WB229210							
	合計							
	単価						円/構造物	

# 1次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 4号	コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)		単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)	有り,5.5km以下,良好	m3	1			単 47号	
	WB229220							
	合計							
	単価						円/m3	

# 1次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 5号	穀処分	コンクリート塊(無筋)	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	処分費(m3)						単 48号	
	WB020051		m3	1				
	合計							
	単価						円/m3	

# 1次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 6号	無収縮モルタル	極小規模	単位	m3	単位数量	0.036	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人	0.5				[ ] [1 ]
	R0125							
	特殊作業員		人	1.5				[ ] [1 ]
	R0101							
	普通作業員		人	1				[ ] [1 ]
	R0102							
	無収縮モルタル 無収縮モルタル		m3	0.036				
	Y000223000001							
	諸雑費(率+まるめ)		式	1				[1] [ ]
	ZS8000004	6%						
	合計							
	単価						円/m3	

# 1次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 7号	高力ボルト本締	極小規模、トルシア形高力ボルト(S10T) M22×115 1組、 M22×85 2組	単位	本	単位数量	3	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう世話役		人	0.5				[ ] [1 ]
	R0124							
	橋りょう特殊工		人	1.5				[ ] [1 ]
	R0122							
	普通作業員		人	0.5				[ ] [1 ]
	R0102							
	摩擦接合用高力ボルト(トルシア) S10T M22×115		組	1				
	Z001374020							
	摩擦接合用高力ボルト(トルシア) S10T M22×85		組	2				
	Z001374014							
	諸雑費(率+まるめ)	17%	式	1				[1] [ ]
	ZS8000004							
	合計							
	単価							円/本

# 1次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 8号	高機能長耐久性防食防水テープ	横桁部	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう世話役		人	0.25				
	R0124							
	橋りょう塗装工		人	0.25				
	R0123							
	材料費 ウルトララックステープ® WT-G05-1 50mm		巻	8.76				[ ] [ 1 ]
	Y000800015012							
	材料費 ウルトララックステープ® プライマー 標準用 850kg/缶		缶	0.48				[ ] [ 1 ]
	Y000800015013							
	諸雑費(率+まるめ)	20%	式	1				[ 1 ] [ ]
	ZS8000004							
	合計							
	単価						円/m2	

# 1次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 9号	高機能長耐久性防食防水テープ	支承部	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう世話役		人	0.6				
	R0124							
	橋りょう塗装工		人	0.6				
	R0123							
	材料費 ウルトララックステープ® WT-G15-1 150mm		巻	2.92				[ ] [1 ]
	Y000800015014							
	材料費 ウルトララックステープ® プライマー 標準用 850kg/缶		缶	0.48				[ ] [1 ]
	Y000800015013							
	諸雑費(率+まるめ)	20%	式	1				[1] [ ]
	ZS8000004							
	合計							
	単価						円/m2	

# 1次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 10号	廢材収集運搬		単位	回	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	運搬費用 産業廃棄物収集運搬費(3tトラック)		回	1				
	Y007610000001							
	合計							
	単価						円/回	

# 1次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 11号	廢材処分	廢材種別：ケレンかす(防護服及びびシート類等含む),鉛溶出量基準値10倍以下	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	処分費(m3)		m3	1				単 49号
	WB020051							
	合計							
	単価						円/m3	

# 1 次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 12号	横断防止柵撤去		単位	m	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	防護柵(横断・転落防止柵)撤去工	コンクリート建込, 門型, 3m, 無, 無	m	1			単 50号	
	WB810770							
	合計							
	単価						円/m	

# 1 次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 13号	現場発生品積込・荷卸・運搬		単位	t	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	現場発生品及び支給品運搬	クレーン装置付2t積、吊能力2.9t、有り、14.0km以下	t	1				
	CB010410							
	現場発生品及び支給品積込・荷卸	クレーン装置付2t積、吊能力2.9t	t	1				
	CB010420							
	合計							
	単価						円/t	

# 1次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 14号	スクラップ	へビーH3	単位	t	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費(t)							単 51号	
	WB020052		t	1				
合計								
単価							円/t	

# 1次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 15号	横断防止柵設置		単位	m	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
防護柵(横断・転落防止柵)設置工		コンクリート建込, 門型, 3m, 100m未満, 無					単 52号	
	WB810760		m	1				
合計								
単価							円/m	

# 1次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 16号	構造物とりこわし・運搬・処分	歩車道境界ブロック	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
構造物とりこわし・運搬・処分 (複合)		無筋構造物,無し,無し,不要,有り,5.7以下	m3	1			単 53号	
WB824020								
合計								
単価							円/m3	

# 1次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 17号	歩車道境界ブロック	ブロック規格:A種(80型)	単位	m	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
歩車道境界ブロック		設置,各種(600mm以下,50kg未満),1.65個/m,無し,無し	m	1				
CB422510								
合計								
単価							円/m	

# 1次単価表(概)

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 18号	排水管設置		単位	箇所	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	材料費 天板プレート一体型排水装置(アンカー、シール材含む) Y000800015016		基	1				
	材料費 取付金具(TS-T1)_排水装置 Y000800009001		組	1				
	コンクリートアンカーホルト設置 CB473310	有り	本	4				
	排水管設置 CB473320	有り	m	1.81				
	諸雑費(まるめ) ZS3000004		式	1				
	合計							
	単価							円/箇所

# 1 次単価表(概)

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 19号	サト・トレン設置		単位	m	単位数量	36	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	材料費 サト・トレン SDL Y000800004003		本	12				
	材料費 トレンシーラー 10×30×1000 Y000800004004		本	36				
	材料費 トレンパント SUS SDL Y000800004005		本	48				
	材料費 アンカー φ8×65 Y000800004006		本	204				
	材料費 丸座金 1.5×24φ×8.5φ Y000800004007		本	156				
	土木一般世話役 R0125		人	5.76				[ ] [ 1 ]
	特殊作業員 R0101		人	22.32				[ ] [ 1 ]
	普通作業員 R0102		人	5.76				[ ] [ 1 ]
	発動発電機 2kVA 日		日	5.76				単 54号 [ ] [ 1 ]
	諸雑費(率+まるめ) ZS8000004 9%		式	1				[ 1 ] [ ]
	合計							
	単価							円/m

# 1次単価表(概)

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 20号	レック・ドレン設置		単位	m	単位数量	3.1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
材料費	レック・ドレン RDL	Y000800004008	本	4				
材料費	ドレンシーラー 5×40×775	Y000800004009	本	4				
材料費	ドレンパット SUS RDL	Y000800004010	本	8				
材料費	アンカー φ8×65	Y000800004006	本	16				
材料費	丸座金 1.5×24φ×8.5φ	Y000800004007	本	8				
土木一般世話役		R0125	人	0.52				[ ] [1 ]
特殊作業員		R0101	人	2.04				[ ] [1 ]
普通作業員		R0102	人	0.52				[ ] [1 ]
発動発電機	2kVA		日	0.52				単 54号 [ ] [1 ]
諸雑費(率+まるめ)		ZS8000004	式	1				[1] [ ]
		9%						
合計								
単価								円/m

# 1次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 21号	ステンレス可とう管設置		単位	m	単位数量	20.32	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	材料費 フレキシブルチューブ φ25 Y000800001003		m	20.32				
	材料費 ステンレス立ハント 立配管用 25A Y000800005010		個	8				
	土木一般世話役 R0125		人	0.81				[ ] [1 ]
	特殊作業員 R0101		人	1.42				[ ] [1 ]
	普通作業員 R0102		人	0.81				[ ] [1 ]
	発動発電機 2kVA		日	0.81				単 54号 [ ] [1 ]
	諸雑費(率+まるめ) ZS8000004 9%		式	1				[1] [ ]
	合計							
	単価							円/m

# 1次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 22号	吊足場 (参考数量)	桁高h<1.5、足場の供用期間：1.5ヶ月、橋梁路面からの搬出入	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	材料費 吊足場（供用月数1.5ヶ月）鋼橋 Y000800002006		m2	1				
	材料費 両側朝顔（供用月数1.5ヶ月）鋼橋 Y000800002007		m2	1				
	材料費 板張防護工（供用月数1.5ヶ月）鋼橋 Y000800002008		m2	1				
	材料費 シート張防護工（供用月数1.5ヶ月）鋼橋 Y000800002009		m2	1				
	材料費 床面シート張防護工（供用月数1.5ヶ月）鋼橋 Y000800002010		m2	1				
	合計							
	単価						円/m2	

# 1次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 23号	片側朝顔防護足場 (参考数量)	足場の供用期間：1.5ヶ月、橋梁路面からの搬出入	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	材料費 片側朝顔防護足場（供用月数1.5ヶ月） Y000800002012		m2	1				
	合計							
	単価						円/m2	

# 1次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 24号	単管足場 (参考数量)	単管傾斜足場、安全ネット：必要	単位	掛m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	足場工 WB252110	単管傾斜足場、必要、標準(1.0)	掛m2	1				単 55号
	合計							
	単価						円/掛m2	

# 1次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 25号	枠組足場 (参考数量)	手摺先行型枠組足場、安全ネット：必要	単位	掛m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	足場工	手摺先行型枠組足場, 必要, 標準(1.0)	掛m2	1			単 56号	
	WB252110							
	合計							
	単価						円/掛m2	

# 1次単価表(概)

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 26号	負圧集塵機 (参考数量)	FSK-500(約12m3/min)同等品以上	単位	橋	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	材料費 負圧集塵機(約12m3/min) Y000800015001		台・日	10				
	材料費 負圧集塵機_基本管理料 Y000800015002		式・台	1				
	材料費 負圧除塵機_1次フィルター Y000800006001		枚	4				
	材料費 負圧集塵機_2次フィルター Y000800006002		枚	1				
	材料費 負圧除塵機_HEPAフィルター Y000800005002		個	1				
	材料費 負圧除塵機_排気用ホリチューブ 0.1mm×φ255 Y000800004001		本	1				
	諸雑費(まるめ) ZS3000004		式	1				
	合計							
	単価							円/橋

# 1次単価表(概)

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 27号	エアシャワー (参考数量)		単位	橋	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
材料費	エアシャワー	Y000800015003	台・日	10				
材料費	エアシャワー_基本管理料	Y000800015004	式・台	1				
材料費	エアシャワー_プレフィルター	Y000800006003	枚	1				
材料費	エアシャワー_HEPAフィルター	Y000800005003	個	1				
諸雑費(まるめ)		ZS3000004	式	1				
合計								
単価							円/橋	

# 1次単価表(概)

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 28号	セキュリテイルーム (参考数量)		単位	橋	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	材料費 セキュリテイルーム ハ°イフ°・シートセット Y000800015005		セット	1				
	材料費 セキュリテイルーム_出入口用ファスナー Y000800005004		個	1				
	材料費 セキュリテイルーム_足拭き用プラスチック粘着マット Y000800005005		個	1				
	諸雑費(まるめ) ZS3000004		式	1				
	合計							
	単価						円/橋	

# 1次単価表(概)

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 29号	真空掃除機 (参考数量)		単位	橋	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	材料費 真空クリーナー GM80P Y000800015006		台・日	10				
	材料費 真空クリーナー_基本管理料 Y000800015007		式・台	1				
	材料費 真空クリーナー3点セット Y000800015008		セット	1				
	材料費 真空クリーナー_1次フィルター Y000800006004		枚	1				
	材料費 真空クリーナー_HEPAフィルター Y000800005006		個	1				
	諸雑費(まるめ) ZS3000004		式	1				
	合計							
	単価							円/橋

# 1次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 30号	交通誘導警備員	B	単位	人日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	交通誘導警備員B							単 57号
	WB010212		人日	1				
	合計							
	単価							円/人日

# 1次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 31号	鉄筋探査 (上向き)	極小規模	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	技師(A)		人	0.5				[ ] [1 ]
	R0403							
	技師(B)		人	1				[ ] [1 ]
	R0404							
	技師(C)		人	1				[ ] [1 ]
	R0405							
	諸雑費(率+まるめ)	5%	式	1				[1] [ ]
	ZS8000004							
	合計							
	単価						円/m2	

# 1 次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 32号	充てん工法	1構造物当り補修延べ延長:20m未満,材料種類:可撓性エポキシ樹脂系	単位	構造物	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	ひび割れ補修工(充てん工法)	20m未満,0.5kg						単 59号
	WB229010		構造物	1				
	合計							
	単価							円/構造物

# 1 次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 33号	左官工法	1構造物当り修復延べ体積:0.36m3,材料種類:ポリマ-セメントモルタル,鉄筋レン-鉄筋防錆処理:有り	単位	構造物	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	断面修復工(左官工法)	有り,0.1m3以上,0.36m3						単 60号
	WB229210		構造物	1				
	合計							
	単価							円/構造物

# 1次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 34号	コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)		単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)		有り, 7.0km以下, 良好					単 61号	
WB229220			m3	1				
合計								
単価							円/m3	

# 1次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 35号	殻処分	コンクリート塊(無筋)	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費(m3)							単 62号	
WB020051			m3	1				
合計								
単価							円/m3	

# 1次単価表(概)

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 36号	水切り設置	20m未満	単位	m	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役							[ ] [1 ]
	R0125		人	1.1				[ ] [1 ]
	特殊作業員							[ ] [1 ]
	R0101		人	1.1				[ ] [1 ]
	普通作業員							[ ] [1 ]
	R0102		人	1.1				[ ] [1 ]
	材料費 ウォーターカッター							[ ] [1 ]
	Y000800001002		m	100				[ ] [1 ]
	諸雑費(率+まるめ)							[1] [ ]
	ZS8000004	3%	式	1				[1] [ ]
	合計							
	単価							円/m

# 1次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 37号	交通誘導警備員	B	単位	人日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件		単位	数量	単価	金額	摘要
	交通誘導警備員B							単 57号
	WB010212		人日	1				
	合計							
	単価							円/人日

# 1次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 38号	左官工法	1構造物当り修復延べ体積:0.57m3, 材料種類:ポリマ -セメントモルタル, 鉄筋レン・鉄筋防錆処理:有り	単位	構造物	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件		単位	数量	単価	金額	摘要
	断面修復工(左官工法)							単 63号
	WB229210		構造物	1				
	合計							
	単価							円/構造物

# 1次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 39号	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	単価	摘要
	コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)		単位	m3	単位数量	1		
	コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)	無し, 11.5km以下, 良好	単位	数量	単価	金額		単 64号
	WB229220		m3	1				
	合計							
	単価						円/m3	

# 1次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 40号	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	単価	摘要
	殻処分		単位	m3	単位数量	1		
	処分費(m3)	コンクリート塊(無筋)	単位	数量	単価	金額		単 65号
	WB020051		m3	1				
	合計							
	単価						円/m3	

# 1次単価表(概)

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 41号	水切り設置	20m未満	単位	m	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役							[ ] [1 ]
	R0125		人	1.1				[ ] [1 ]
	特殊作業員							[ ] [1 ]
	R0101		人	1.1				[ ] [1 ]
	普通作業員							[ ] [1 ]
	R0102		人	1.1				[ ] [1 ]
	材料費 ウォーターカッター							[ ] [1 ]
	Y000800001002		m	100				[ ] [1 ]
	諸雑費(率+まるめ)							[1] [ ]
	ZS8000004	3%	式	1				[1] [ ]
	合計							
	単価							円/m

# 1次単価表(概)

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 42号	吊足場 (参考数量)	供用月数：0.6ヶ月、現場環境：橋梁路面から設置	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	材料費 吊足場（供用月数0.6ヶ月）RC橋 Y000800002001		m2	1				
	材料費 両側朝顔（供用月数0.6ヶ月）RC橋 Y000800002002		m2	1				
	材料費 板張防護工（供用月数0.6ヶ月）RC橋 Y000800002003		m2	1				
	材料費 シート張防護工（供用月数0.6ヶ月）RC橋 Y000800002004		m2	1				
	材料費 床面シート張防護工（供用月数0.6ヶ月）RC橋 Y000800002005		m2	1				
	合計							
	単価							円/m2

# 1次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 43号	交通誘導警備員	B	単位	人日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	交通誘導警備員B						単 66号	
	WB010212		人日	1				
	合計							
	単価						円/人日	

# 2次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 44号 WB229010	ひび割れ補修工(充てん工法)	20m以上, 34m, 4.6kg	単位	構造物	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役							[ ] [1 ]
	R0125		人	1.462				
	特殊作業員							[ ] [1 ]
	R0101		人	2.21				
	普通作業員							[ ] [1 ]
	R0102		人	1.938				
	材料費 可撓性ポキシ樹脂							
	Y000800007001		kg	5.52				
	諸雑費(率+まるめ)							[1] [ ]
	ZS8000004	17%	式	1				
	合計							
	単価							円/構造物

# 2次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 45号 WB229110	ひび割れ補修工(低圧注入工法)	25m未満, 0.2kg, 3.6kg, 59個	単位	構造物	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役							[ ] [1] [ ]
	R0125		人	1.5				
	特殊作業員							[ ] [1] [ ]
	R0101		人	2.4				
	普通作業員							[ ] [1] [ ]
	R0102		人	1.8				
	注入材 DDグラッド50							
	Y001633001001		kg	0.2				
	シール材 #101							
	Y001670000001		kg	4.932				
	材料費 DDインジェクター							
	Y000800005001		個	59				
	諸雑費(率+まるめ)							[1] [ ] [ ]
	ZS8000004	6%	式	1				
	合計							
	単価							円/構造物

# 2次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 46号 WB229210	断面修復工(左官工法)	有り, 0.1m3以上, 0.96m3	単位	構造物	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役							[ ] [1 ]
	R0125		人	26.88				[ ] [1 ]
	特殊作業員							[ ] [1 ]
	R0101		人	50.88				[ ] [1 ]
	普通作業員							[ ] [1 ]
	R0102		人	26.88				[ ] [1 ]
	材料費 ポ <sup>レ</sup> リマ <sup>ー</sup> セメントモルタル							
	Y000800003001		m3	1.133				
	諸雑費(率+まるめ)							[1] [ ]
	ZS8000004	8%	式	1				
	合計							
	単価							円/構造物

# 2次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 47号 WB229220	コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)	有り, 5.5km以下, 良好	単位	m3	単位数量	10	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	普通作業員							
	R0102		人	1.299				
	ダンプトラック運転	良好						単 67号
	WK220710		日	0.61				
	諸雑費(まるめ)							
	ZS3000004		式	1				
	合計							
	単価							円/m3

## 2次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 48号 WB020051	処分費(m3)		単位	m3	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費 CO塊(無筋)志久呂橋		Y007600000005	m3	100				
合計								
単価							円/m3	

## 2次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 49号 WB020051	処分費(m3)		単位	m3	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費 廃プラ(塗装カス)_基準値10倍以下		Y007600000006	m3	100				
合計								
単価							円/m3	

## 2次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 50号 WB810770	防護柵(横断・転落防止柵)撤去工	コンクリート建込, 門型, 3m, 無, 無	単位	m	単位数量	100	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
	横断・転落防止柵撤去工 C0建込用 門型 単価補正1.000(FP3)	Q001168005	m	100			
	諸雑費(まるめ)	ZS3000004	式	1			
	合計						
	単価						円/m

## 2次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 51号 WB020052	処分費(t)		単位	t	単位数量	100	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
	処分費 スクラップ(ヘビーH3)	Y007600001001	t	100			
	合計						
	単価						円/t

# 2次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 52号 WB810760	防護柵(横断・転落防止柵)設置工	コンクリート建込, 門型, 3m, 100m未満, 無	単位	m	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	横断・転落防止柵設置工 C0建込用 門型 単価補正1.350(FP3)	Q001156005	m	100				
	防護柵(P種) 横断防止柵(KPT-8-W, ターグラー)	Y001191000002	m	100				
	諸雑費(まるめ)	ZS3000004	式	1				
	合計							
	単価						円/m	

# 2次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 53号 WB824020	構造物とりこわし・運搬・処分 (複合)	無筋構造物,無し,無し,不要,有り,5.7以下	単位	m3	単位数量	1	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
	構造物とりこわし WB824010	無筋構造物,機械施工,無し,無し,不要	m3	1			単 68号
	処分費(m3) WB020051		m3	1			単 48号
	殻運搬 CB227010	コンクリート(無筋)構造物とりこわし,機械積込,有り,5.7km以下,全ての費用	m3	1			
	合計						
	単価						円/m3

# 2次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 54号	発動発電機 2kVA		単位	日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	ガソリン レギュラー Z006704001		L	7.2				
	発動発電機[ガソリンエンジン駆動] 2kVA L001110001		日	1				
	諸雑費(まるめ) ZS3000004		式	1				
	合計							
	単価						円/日	

# 2次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 55号 WB252110	足場工	単管傾斜足場, 必要, 標準(1.0)	単位	掛m2	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役							[ ] [1 ]
	R0125		人	1.5				
	とび工							[ ] [1 ]
	R0106		人	6.1				
	普通作業員							[ ] [1 ]
	R0102		人	2.7				
	ラフテレンクレーン[油圧伸縮シブ型] 25t吊 単価補正1.000	L001130006	日	0.8				[ ] [1 ]
	諸雑費(率+まるめ)	ZS8000004	28% 式	1				[1] [ ]
	合計							
	単価							円/掛m2

# 2次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 56号 WB252110	足場工	手摺先行型枠組足場, 必要, 標準(1.0)	単位	掛m2	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役							[ ] [1 ]
	R0125		人	1.6				
	とび工							[ ] [1 ]
	R0106		人	8.5				
	普通作業員							[ ] [1 ]
	R0102		人	1.3				
	ラフテレンクレーン[油圧伸縮シブ型] 25t吊 単価補正1.000	L001130006	日	1.4				[ ] [1 ]
	諸雑費(率+まるめ)	ZS8000004	31% 式	1				[1] [ ]
	合計							
	単価							円/掛m2

## 2次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 57号 WB010212	交通誘導警備員B		単位	人日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	R0804		人	1				
	ZS3000004		式	1				
	合計							
	単価							円/人日

## 2次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 58号	鉛等呼吸用保護具等費用	条件	単位	式	単位数量	金額	単価	摘要
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額		摘要
	材料費 全面型電動ファンマスク Sy185-H Y000800015009		台	3			1	
	材料費 吸収缶 V3/OV Y000800005007		個	20				
	材料費 フィルターカート Y000800005008		個	3				
	材料費 Sy185用かほくグラス Y000800006006		枚	6				
	材料費 Sy185用バッテリー BA-L2H Y000800005009		個	3				
	材料費 化学防護服 BOUGU2300X Y000800006007		枚	24				
	材料費 SFシューズカバー PVC滑り止め付き Y000800015010		足	24				
	材料費 ニトリル化学防護手袋 BOUGU YKNT12000 Y000800015011		双	24				
	材料費 排気袋 大 0.15×850×1280 Y000800006008		枚	8				
	諸雑費(まるめ) ZS3000004		式	1				
	合計							

# 2次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 59号 WB229010	ひび割れ補修工(充てん工法)	20m未満, 0.5kg	単位	構造物	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役							[ ] [1 ]
	R0125		人	0.85				
	特殊作業員							[ ] [1 ]
	R0101		人	1.3				
	普通作業員							[ ] [1 ]
	R0102		人	1.1				
	材料費 可撓性ポキシ樹脂							
	Y000800007001		kg	0.6				
	諸雑費(率+まるめ)							[1] [ ]
	ZS8000004	17%	式	1				
	合計							
	単価							円/構造物

# 2次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 60号 WB229210	断面修復工(左官工法)	有り, 0.1m3以上, 0.36m3	単位	構造物	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役							[ ] [1 ]
	R0125		人	10.08				
	特殊作業員							[ ] [1 ]
	R0101		人	19.08				
	普通作業員							[ ] [1 ]
	R0102		人	10.08				
	材料費 ポリマーセメントモルタル							
	Y000800003001		m3	0.425				
	諸雑費(率+まるめ)							[1] [ ]
	ZS8000004	8%	式	1				
	合計							
	単価							円/構造物

# 2次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 61号 WB229220	コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)	有り, 7.0km以下, 良好	単位	m3	単位数量	10	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	普通作業員							
	R0102		人	1.299				
	ダンプトラック運転	良好						単 67号
	WK220710		日	0.78				
	諸雑費(まるめ)							
	ZS3000004		式	1				
	合計							
	単価							円/m3

## 2次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 62号 WB020051	処分費(m3)		単位	m3	単位数量	100	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費 CO塊(無筋) うら川橋		Y007600000003	m3	100			
合計							
単価							円/m3

## 2次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 63号 WB229210	断面修復工(左官工法)	有り, 0.1m3以上, 0.57m3	単位	構造物	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人	15.96				[ ] [1 ]
	R0125							
	特殊作業員		人	30.21				[ ] [1 ]
	R0101							
	普通作業員		人	15.96				[ ] [1 ]
	R0102							
	材料費 ポリマーセメントモルタル		m3	0.673				
	Y000800003001							
	諸雑費(率+まるめ)		式	1				[1] [ ]
	ZS8000004	8%						
	合計							
	単価							円/構造物

# 2次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 64号 WB229220	コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)	無し, 11.5km以下, 良好	単位	m3	単位数量	10	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	普通作業員		人	1.299				
	R0102							
	ダンプトラック運転	良好	日	1.06				単 69号
	WK220710							
	諸雑費(まるめ)		式	1				
	ZS3000004							
	合計							
	単価							円/m3

## 2次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 65号 WB020051	処分費(m3)	条件	単位	m3	単位数量	100	単価	摘要
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費 C0塊(無筋) 上区田尻谷線4号橋 Y007600000004			m3	100				
合計								
単価							円/m3	

## 2次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 66号 WB010212	交通誘導警備員B	条件	単位	人日	単位数量	1	単価	摘要
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員B R0804			人	1				
諸雑費(まるめ) ZS3000004			式	1				
合計								
単価							円/人日	

# 3次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 67号 WK220710	タンプトラック運転	良好	単位	日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	運転手(一般)		人	0.89				
	R0115							
	軽油		L	19.2				
	Z006702002							
	タンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級	機械条件:供用 持込	供用日	1.02				
	M000301002							
	タイヤ損耗費 4t積級 良好 供用日		供用日	1.02				
	Z010020045							
	諸雑費(まるめ)		式	1				
	ZS3000004							
	合計							
	単価							円/日

# 3次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 68号 WB824010	構造物とりこわし	無筋構造物, 機械施工, 無し, 無し, 不要	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	無筋構造物 昼間 機械施工 制約無 単価補正1.000 (FP3)	Q001611001	m3	1				
	諸雑費(まるめ)	ZS3000004	式	1				
	合計							
	単価							円/m3

# 3次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 69号 WK220710	タンプトラック運転	良好	単位	日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	運転手(一般)		人	0.89				
	R0115							
	軽油		L	19.2				
	Z006702002							
	タンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級	機械条件:供用 持込	供用日	1.02				
	M000301002							
	タイヤ損耗費 4t積級 良好 供用日		供用日	1.02				
	Z010020045							
	諸雑費(まるめ)		式	1				
	ZS3000004							
	合計							
	単価							円/日

## 特記仕様書（個別工事編）

工事名 志久呂橋他2橋補修工事  
工事場所 京都市北区上賀茂毛穴井町他地内

### 1 一般事項

#### 第1条（適用）

本工事の施工に当たっては、「設計図書」によるほか、土木請負工事必携（以下「請負工事必携」という。）（令和7年8月京都市）」及び「特記仕様書（全工事共通編）（令和8年4月）」によらなければならない。

なお、本工事施工現場には、必ず請負工事必携、特記仕様書（全工事共通編）及び本特記仕様書を常備しなければならない。

※ 京都市情報館「トップページ」⇒「まちづくり」⇒「技術管理」⇒「監督・検査」⇒「工事（土木、舗装、樹木等）の仕様書、様式等」参照  
請負工事必携・特記仕様書（全工事共通編）

<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000292439.html>

#### 第2条（受注者希望方式による「完全週休2日(土日)」又は「月単位の週休2日」の実施）

- 1 本工事は「京都市建設局週休2日工事」の対象（受注者希望方式による「完全週休2日(土日)」又は「月単位の週休2日」）であり、「京都市建設局週休2日工事实施要領」  
<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000322908.html>）に基づいて実施する。ただし、「通期の週休2日」は必須である。
- 2 受注者は、契約後すみやかに、「完全週休2日(土日)」又は「月単位の週休2日」の実施を希望するか否かを、発注者と協議し、その内容を工事打合せ簿に記録すること。また、施工計画書の作成に当たっては、「完全週休2日(土日)」又は「月単位の週休2日」の実施内容を反映させること。
- 3 「完全週休2日(土日)」又は「月単位の週休2日」を達成した場合は、工事成績評定の考査項目「創意工夫」において、加点対象となる。
- 4 受注者は、本市が週休2日の推進を目的に受注者に対して実施する「京都市建設局週休2日工事」に関するアンケート調査やヒアリング調査に、随時協力しなければならない。
- 5 工事標示板に「京都市建設局週休2日工事」（4週8休以上であることを明記すること。）である旨を明示すること（様式不問）。

#### 第3条（ウィークリースタンスの実施）

本工事はウィークリースタンスの対象である。

実施に当たっては、「京都市建設局ウィークリースタンス実施要領」に基づき、受発注者相互に協力し、以下の項目について取り組むこととする。

- (1) 休日明け日（月曜日等）は依頼の期限日としない。
- (2) 休前日（金曜日等）に新たな依頼をしない。
- (3) 勤務時間外に書類作成等の依頼をしない。

- (4) 昼休みや勤務時間外の打合せを行わない。
- (5) 作業内容に見合った作業期間を確保する。(適正な期限日を設定する。)
- (6) 打合せは Web 会議 (ビデオ会議機能) も活用する。

なお、工事 (又は業務委託) の特性を踏まえ、災害等の緊急的な対応、第三者等の要求に伴う対応及び関係機関等との協議による休日又は夜間作業等により、取組が実施できない場合の対処方法 (依頼や期限に関する特例、代休、振替休日の措置等) については、受発注者で確認し、共有する。

#### 第4条 (「建設キャリアアップシステム活用モデル工事」の実施)

- 1 本工事は「京都市建設局建設キャリアアップシステム活用モデル工事」の対象 (ただし、受注者希望方式) であり、「京都市建設局建設キャリアアップシステム活用モデル工事試行要領」 (<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000338803.html>) に基づいて実施する。
- 2 受注者は、契約後速やかに、建設キャリアアップシステムの活用を希望するか否かを、発注者へ通知し、その内容を工事打合せ簿に記録すること。
- 3 建設キャリアアップシステムの履行状況を確認できた場合は、工事成績評定の考査項目「創意工夫」において、加点対象となる。

#### 第5条 (前払金)

- 1 前払金は、請負代金の40%以内とし、中間前払金は、同様に20%以内とする。  
なお、前払金保証 (中間前払金保証を含む。) について、電子証書の提出を可能とする。
- ※ 京都市入札情報館ホームページ「契約保証及び前払金保証に係る保証証書の電子化への対応について」参照 (<https://www2.city.kyoto.lg.jp/rizai/chodo/info/pdf/2023/shoushodenshika.pdf>)

## 2 現場条件に関する事項

### 第1条（現場条件）

本工事の施工に当たっては、下記の現場条件等に留意すること。

- 1 本工事は3橋りょう(志久呂橋、うら川橋、上区田尻谷線4号橋)の補修を行うものであり、工期内に工事が完了するよう、適切な工程管理を行う必要がある。そのため、工事着手前に監督職員へ実施工程を提出し、了承を得てから施工すること。
- 2 交通規制をする場合は、具体的な交通規制図を作成し、交通管理者及び地元関係者の理解を得ること。

### 第2条（施工時間）

施工は原則昼間とし、標準的な作業時間帯は、8時～17時とする。ただし、関係機関と協議の結果、施工時間に変更が生じた場合は、設計図書に関して監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

### 第3条（工程）

本工事の施工に当たっては、下記の工程に関する条件等に留意すること。

- 1 志久呂橋については、河川内施工期間は河川非出水期間（10/16～6/15）を原則とする。本期間を超過する河川内施工（主桁下フランジより上は除く）については一切認めず、工期内で工事が完了しなかった場合、次期非出水期まで工期延期するか、または工期延期せずに工事内容の減額変更を行うものとする。

### 第4条（交通誘導警備員）

- 1 交通誘導警備員については、下表のとおり計上しているが、道路管理者及び所轄警察署等の打合せの結果、又は条件変更等に伴い員数に増減が生じた場合は、設計図書に関して監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

配置場所	交通誘導警備員 (1日当たりの編成人数)	編成	昼間・夜間・ 24時間の別	交替要員 の有無
志久呂橋	1～2名	交通誘導警備員B 1～2名	昼間	無
うら川橋	1名	交通誘導警備員B 1名	昼間	無
上区田尻谷線4 号橋	1名	交通誘導警備員B 1名	昼間	無

### 3 監督職員の確認に関する事項

#### 第1条（材料確認）

受注者は、次表の材料・資材・製品について、監督職員が臨場のうえ、材料確認を受けるものとする。また、あらかじめ施工計画書に材料等の名称・規格等を記載すること。

受注者は、監督職員が材料確認のために臨場した際、当該材料等の製造者が発行する品質を証明する資料（見本を含む）との照合、搬入された材料等の外観（角欠け、ひび割れ等）、形状、寸法及び数量等の確認を受けなければならない。

ただし、監督職員の確認が机上となる場合、受注者は、当該材料等の外観、形状、寸法（幅、長さ、高さ）及び搬入数量等が判別できる写真記録等の資料（納品書、納品伝票も可）を監督職員に提出し、その確認を受けなければならない。

なお、受注者は監督職員の確認を得ずに、当該材料等を使用して工事を実施してはならない。

監督職員の指定に基づき実施する材料・資材及び製品  
 （「品質管理基準及び規格値」に基づき実施する製品及び材料以外）

橋りょう	工種・種別等	細 別	材料・資材・製品
志久呂橋	ひび割れ補修工	充てん工法	充てん材
	ひび割れ補修工	低圧注入工法	シーリング材、注入材、注入器具
	断面修復工	左官工法	ポリマーセメントモルタル、防錆剤
	沓座モルタル整形工	無収縮モルタル	無収縮モルタル
	高力ボルト本締工	高力ボルト本締	トルシア形高力ボルト(S10T)M22×115、 M22×85
	鋼材防食工	高機能長耐久性 防食防水テープ	防食防水テープ
	防護柵補修工	横断防止柵設置	防護柵
	縁石補修工	歩車道境界ブロック	歩車道境界切下げブロック(A種)(京都市 80型)
	排水管補修工	排水管設置	天板プレート一体型排水装置、取付金具
	漏水対策工	サイド・ドレン設置	各種材料
		レック・ドレン設置	各種材料
ステンレス可とう管設置		各種材料	
うら川橋	ひび割れ補修工	充てん工法	充てん材
	断面修復工	左官工法	ポリマーセメントモルタル、防錆剤
	水切り設置工	水切り設置	水切り材
上区田尻谷 線4号橋	断面修復工	左官工法	ポリマーセメントモルタル、防錆剤
	水切り設置工	水切り設置	水切り材

#### 第2条（受注者の臨場）

監督職員が行う段階確認においては、主任技術者（又は監理技術者、或いは監理技術者補佐）又は現場代理人、若しくは、予め監督職員の承諾を得た者が臨場のうえ、確認を受けなければならない。

### 第3条（段階確認）

受注者は、共通仕様書（3-1-1-4）の「表3-1-1 段階確認一覧表」に示す各種別、「品質管理基準及び規格値」による段階確認項目及び次表の工種・種別等の施工段階において、監督職員が臨場のうえ段階確認を受けるものとする。また、あらかじめ施工計画書に確認内容を記載すること。

ただし、監督職員による確認が机上となる場合、受注者は、施工状況、出来形、品質、不可視部分等の判別ができる施工管理記録（出来形成果表、設計図面との対比図、品質管理記録等）と写真等の資料を監督職員に提出し、その確認を受けなければならない。

なお、受注者は監督職員の確認を得ずに、当該工種以降の作業を実施してはならない。

監督職員の指定に基づき実施する段階確認（「品質管理基準及び規格値」による段階確認項目含む）  
 （共通仕様書（3-1-1-4）の「表3-1-1 段階確認一覧表」に基づき実施する段階確認以外）

橋りょう	工種-種別等	細 別	確 認 項 目
志久呂橋	沓座モルタル整形工	無収縮モルタル	施工完了後の状況
	足場工	吊足場 片側朝顔防護足場	設置完了後
上区田尻谷 線4号橋	足場工	吊足場	設置完了後

### 第4条（立会確認）

受注者は、次表に示す内容について、監督職員と現地で立会を行い、確認するものとし、監督職員が確認するまでは次の作業に進んではならない。

項 目	確 認 方 法・目 的 等
保安施設設置状況	工事による事故防止のため、監督職員と立会確認をする（ただし、立会確認書は必要としない。）。

### 第5条（品質管理試験）

1 本工事の施工に伴う品質管理試験のうち、土木工事施工管理基準（品質管理基準及び規格値）に記載がない試験項目等については、次表のとおりとする。

工種	品目・規格等	試験項目	規格値、試験時期・頻度等	備考
アンカー 筋挿入	アンカー 筋	引張試験 アンカーボルト長さ試験	特記仕様書（個別工事編）「5 その他事項」第6条による。	
断面修復工	ポリマー セメント モルタル	コンクリートとの付着性	1.5N/mm <sup>2</sup> 以上、施工単位ごと	
		圧縮強度	強度 24N/mm <sup>2</sup> 以上、施工単位ごと	
		フロー試験	使用材料による管理値、施工日毎	

## 4 建設副産物に関する事項

### 第1条（建設副産物の適正処理）

#### 1 建設廃棄物が発生する場合の対応

本工事の施工により発生する建設廃棄物は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律の許可を受けた施設へ搬出するものとする。

なお、下表は積算上の条件明示であることから施設を指定するものではなく、監督職員の承諾を得て搬出先の変更を行うことができるが、原則として設計変更の対象としない。

また、産業廃棄物が発生する場合は「京都市産業廃棄物の不適正な処理の防止等に関する条例」（最終改正平成23年4月1日）及び「京都市産業廃棄物不適正処理対策要綱」（最終改正平成16年4月1日実施）を遵守すること。

特に、マニフェストを発行して産業廃棄物が適正に処理されたことを確認すること。このとき、受注者が排出業者であることとして保管の義務のあるA、B2、D、E票については、その原本を監督職員へ提示すること。

#### <産業廃棄物>

橋りょう名	建設副産物	受入場所	備 考
志久呂橋	コンクリート塊 (無筋)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第6項の許可を受けた施設 京都市左京区岩倉幡枝町1114番地	設計運搬距離 L=5.4km
	ケンカス(防護服及びシート類等含む)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第6項の許可を受けた施設 兵庫県神戸市西区岩岡町野中宇福吉540番地の6	設計運搬距離 (京都市)～ (神戸市内)
うら川橋	コンクリート塊 (無筋)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第6項の許可を受けた施設 京都府乙訓郡大山崎町下植野小字北牧方25番、25番5	設計運搬距離 L=6.7km
上区田尻 谷線4号橋	コンクリート塊 (無筋)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第6項の許可を受けた施設 京都市右京区京北下弓削町神楽田1-1、1-3・2	設計運搬距離 L=9.7km

#### 2 スクラップについて

本工事の施工により発生するスクラップは、下表の条件で積算している。

なお、搬出先は必要な許可を有するものとし、その証明書の写し（搬出先を変更したときのみ）と処分量を明記した証明書（受入確認書等）を監督職員に提出すること。

建設副産物	受入場所	備 考
スクラップ (ヘビーH3)	京都市南区上鳥羽鉾立町4	設計運搬距離 L=11.6km

### 第2条（特定建設資材の分別解体等及び再資源化等）

(1) 本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(最終改定令和7年6月1日)(以下

「建設リサイクル法」という。)に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

なお、本工事における特定建設資材の分別解体等及び再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「6 解体工事に要する費用等」に定める事項は、契約締結時に発注者と受注者の間で確認されるものであるため、発注者が積算上明示した以下の事項と別の方法であった場合でも設計変更の対象としない。ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

#### 分別解体等の方法

	工 程	作業内容	分別解体等の方法
工程ごとの作業内容及び解体方法	①仮設	仮設工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	③基礎工(杭基礎等)	基礎工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	⑥その他( )	その他の工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用

※ 特定建設資材廃棄物を排出する場合、再資源化施設等の所在地については、本特記仕様書に示す「建設副産物の適正処理について」に記載のとおりとする。

(2) 受注者は、特定建設資材の分別解体等及び再生資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、以下の事項を別に定める18条様式に記載し、監督職員に報告すること。

- ・再資源化等が完了した年月日
- ・再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・再資源化等に要した費用

なお、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を提出した場合、18条に基づく報告を省略することができるものとする。

## 5 その他事項

### 第1条（工事書類の提出）

完成検査の受検に向けた出来形図書については、工期末の2か月前までに提出すること。また、完成検査に必要な工事書類については、工期末の14日前までに提出すること。

### 第2条（受注者希望型におけるICT活用工事の試行）

- 1 本工事は、「京都市建設局ICT活用工事試行方針（案）」（令和7年8月）（以下「試行方針」という。）及び「京都市建設局ICT活用工事試行要領（案）」（令和7年8月）（以下「試行要領」という。）の内容に従いICT活用工事を試行できる。

※ 京都市情報館「トップページ」⇒「まちづくり」⇒「技術管理」⇒「高度情報化」参照  
<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000290097.html>

- 2 試行の対象工種は「試行方針」に定めた工種とし、「試行要領」の対象工種の詳細に基づき、ICT活用工事を試行できる。
- 3 受注者が試行を希望する場合、契約後施工計画書の提出までに、受注者はICT活用の効果、具体的な工事内容・数量及び対象範囲について、発注者へ提案、協議を行うこと。発注者と協議が整った施工プロセス①～⑤の全て又は何れかの段階で、ICT施工技術を活用できる。

なお、試行の対象工種が土工、舗装工、舗装工（修繕工）の場合は、施工プロセス①、②、③又は②、④、⑤を含む3つ以上の施工プロセスの活用を基本とし、その他のプロセスを含め協議にり選定できる。

- ① 3次元起工測量
  - ② 3次元設計データ作成
  - ③ ICT建設機械による施工
  - ④ 3次元出来形管理等の施工管理
  - ⑤ 3次元データの納品
- 4 ICT活用工事の費用については、当初は計上せず、発注者との協議が整った各施工プロセスの段階を設計変更に必要な経費を計上する。受注者は設計変更に必要な見積書を提出すること。
  - 5 「試行要領」により有効に試行したことが認められた場合は、工事成績の「創意工夫」及び「工事特性」の項目で加点評価する。ただし、①3次元起工測量の1プロセスのみの活用は除く。

### 第3条（情報共有システムの利用）

- 1 本工事は、情報共有システム（以下「システム」という。）の利用対象とする。システムを利用しない場合は、監督員から承諾を得るものとする。

システムの利用に当たっては、「京都市建設局情報共有システム活用ガイドライン（令和6年3月）（※）」（以下「ガイドライン」という。）を遵守するものとし、ガイドラインの内容を十分に確認したうえで事前協議を行うこと。

- 2 利用するシステムは、ガイドラインで定める要件を満たすシステムの中から、受注者が選定すること。
- 3 システムの利用に係る費用は共通仮設費率分に含まれており、システム提供者との契約や利用に係る手続等は受注者が行うものとする。

4 システムで発議・提出・受理などの処理を行った工事帳票は、「京都市建設局電子納品実施要領」（以下「要領」という。）に基づき作成された仕様の電子データで出力し納品すること。

なお、要領は適宜改正されることから、適宜、京都市情報館を確認すること。

※ 京都市情報館「トップページ」⇒「まちづくり」⇒「技術管理」参照

<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000280681.html>

#### 第4条（受注者希望型における遠隔臨場の実施）

本工事は受注者の希望により遠隔臨場を行うものとする。

##### 1 目的

本工事は、「建設現場の遠隔臨場に関する実施要領（案）」（令和5年3月）及び「建設現場における遠隔臨場に関する監督・検査実施要領（案）」（令和5年3月）の内容に従い実施するものとする。

##### 2 実施内容

###### （1） 「段階確認」、「材料確認」及び「立会」の実施

ア 受注者が動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）により撮影する映像と音声を監督職員へWeb会議システム等を使用し、双方向の通信により会話しながら確認する。実施内容については、受発注者間の協議により決定するものとする。

イ 遠隔臨場に使用する動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）の資機材は受注者が準備するものとする。ウェアラブルカメラ等の資機材は、使用製品を限定するものではなく、一般的なAndroidやi-Phone等のモバイル端末を使用することも可能である。ただし、監督職員が使用するパソコン等の機器・ネットワーク環境に適合する資機材を使用するものとし、資機材の選定に当たっては監督職員から承諾を得ること。

なお、動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）の使用は、「段階確認」、「材料確認」及び「立会」だけではなく、現場不一致、事故などの報告時等でも活用効果が期待されることから、受注者の創意工夫等、自発的に実施する行為を妨げるものではない。

###### （2） 効果の検証

遠隔臨場を通じた効果の検証及び課題の抽出に関するアンケート調査を実施する場合は、調査に協力するものとする。詳細は、監督職員の指示による。

###### （3） 費用

遠隔臨場の実施に掛かる費用については、積上げ計上していないが、「建設現場の遠隔臨場に関する実施要領（案）」（令和5年3月）の内容に従い、遠隔臨場の実施に要する費用を設計変更の対象とする。

なお、遠隔臨場の実施方法については、施工計画書提出までの協議において提案するものとする。また、受注者はその費用について見積書を提出するものとする。

###### （4） 成績評定

遠隔臨場を実施した工事の成績評定は、考査項目「創意工夫」において、1点の加点とする。

#### 第5条（鉛・PCB等の適正処理）

##### 1 鉛等有害物を含有する塗料の剥離・かき落とし作業における健康障害防止について

志久呂橋については、事前調査で実施した既存塗膜の有害物質含有試験により、既存塗膜に鉛が含

有の判定基準値以上含まれていることが判明しているため、「鉛等有害物を含有する塗料の剥離・かき落とし作業における労働者の健康障害防止について（平成26年5月30日厚生労働省）」の塗装剥離等作業を請け負う事業者についての記載事項を遵守すること。

## 2 含有量試験について

志久呂橋については、塗膜の各有害物質の含有量試験結果を監督員から別途通知する。

## 3 溶出試験について

志久呂橋については、鉛、クロム化合物に関する溶出試験を実施すること。

溶出試験の方法は、「産業廃棄物に含まれる金属等の検定方法」（昭和48年環境庁告示13号）に準ずるものとする。溶出試験の結果は、速やかに監督職員へ報告するとともに、特別管理産業廃棄物の判定基準値（廃棄物処理法施行規則第1条の2）を超過する場合は、適正な処分方法等について監督職員と協議すること。

## 第6条（アンカー筋挿入）

### 1 施工

- (1) 請負者は、検査に必要な所定の様式を監督職員に提出し、出来高確認を受けること。
- (2) あと施工アンカーの施工は、構造物施工管理要領（東日本高速道路株式会社・中日本高速道路株式会社・西日本高速道路株式会社）に従い施工すること。
- (3) 注入材については、エポキシ系樹脂を標準とする。使用の際は必ず監督職員の承諾を得て使用すること。
- (4) エポキシ系樹脂は、次表に試験項目と規格値に適合する試験成績表を1ロット毎に提出しなければならない。

### 2 注入用エポキシ系樹脂規格値

試験項目	試験方法	試験条件	規格値
比重	JIS K 7112	23℃	1.2±0.2
圧縮降伏強度	JSCE K 7181	23℃(7日養生)	50N/mm <sup>2</sup> 以上
引張強度	JIS K 7161	〃	20N/mm <sup>2</sup> 以上
曲げ強度	JSCE K 7171	〃	40N/mm <sup>2</sup> 以上
引張せん断付着強度	JIS K 6850	〃	10N/mm <sup>2</sup> 以上
衝撃強度	JIS K 7111-1	〃	1.5kJ/m <sup>2</sup> 以上
圧縮弾性係数	JIS K 7181	〃	1000N/mm <sup>2</sup> 以上
硬度	JIS K 7215	〃	80HD 以上

※工事材料承諾願には、上記の規格試験値の他、粘度、可使時間、硬化時間を記載しなければならない。

- (5) あと施工アンカーの施工計画書には下記の項目を記載すること。
  - ①使用材料 ②施工手順 ③穿孔機械の緒元 ④穿孔箇所 ⑤穿孔径及び穿孔長の確認方法⑥穿孔後の孔内の清掃方法 ⑦接着剤の充填方法 ⑧施工時の気温 ⑨養生方法 ⑩品質管理試験 ⑪安全衛生管理
- (6) 穿孔に際しては、既設構造物の鉄筋に損傷を与えないように十分注意すること。

- (7) あと施工アンカーの施工は、(社)日本建築後施工アンカー協会の認定する作業資格認定者のもとで行わなければならない。
- (8) コンクリート削孔の際、既設の鉄筋を切断してはならない。やむをえず鉄筋を切断しなければならない場合は、強度計算を行い、既設橋台に支障がないかを確認し、速やかに監督職員に報告し、監督職員の了解を得てから切断すること。
- (9) 削孔位置が既設の鉄筋と重なる場合等でアンカーの位置等を変更する場合には、隣接するアンカーへの影響や、コンクリート端部の影響を考慮して、設計の変更を行わなければならない。

## 2 基準試験

- (1) 基準試験は、使用する材料及び施工方法により、アンカーが所定の品質を満足するかを確認することを目的に、施工前に行う試験である。
- (2) 基準試験実施時間は、本施工開始前とする。また、試験頻度は、同一材料、同種の施工条件について1回とする。
- (3) 試験1回につき3本以上について引張試験(アンカーの引抜き試験)を行う。  
試験結果の判定は、試験数量全てが、(アンカーの引抜き耐力) $\geq(\sigma_{ST} \times \text{公称断面積})$ の場合に合格する。  
なお、 $\sigma_{ST}$ は原則としてアンカー鉄筋の許容応力度とする。
- (4) 試験は施工対象構造物において実施し、本施工に影響のない箇所で行うことを標準とする。
- (5) 判定に適合しない場合は、使用材料・施工方法の変更等の対策を講じ、再度基準試験を実施し、合格しなければならない。

## 3 定期管理試験

- (1) 定期管理試験は、施工されたアンカーが所定の品質を満足するかを確認する為に、定期的に抜き取り実施する試験である。
- (2) 試験頻度は、同一材料、同種の施工条件について、1回以上実施する。
- (3) 試験方法は基準試験に準ずる。
- (4) 施工されたアンカーのうち監督職員が指示するもの。
- (5) 判定に合格しない場合は、監督職員の指示により、同様な条件により施工されたと考えられるアンカーについて引抜き試験を実施する。引抜き試験の結果、判定に適合しないアンカーについては、原則として再施工とする。また、以後の施工に際しては、使用材料・施工方法を検討の上、基準試験を再度実施する。

## 4 日常管理試験

- (1) 日常管理試験は、施工されたアンカーが所定の品質を満足するかを確認する為に、アンカーの施工日毎に目視、打検などにより全数、および抜き取りでアンカーボルト長さ試験を実施するものである。
- (2) 確認項目は以下のとおりとする
  - ① 施工条件及び施工方法が、施工計画及び基準試験と合致していること。
  - ② 穿孔径及び穿孔長が設計図書どおりであること。
  - ③ 穿孔後の孔内清掃が十分であること。
  - ④ 接着剤の充填が十分であること。
  - ⑤ ハンマー等で打検を行い、アンカーが十分定着されていること。また、所定の寸法であること。

- ⑥ アンカーボルト長さ試験による測定値が、設計長の 98%以上であること。
- ⑦ その他監督職員の指示する事項。

## 第7条（高力ボルト）

### 1 高力ボルト締付検査

高力ボルト締付検査は、鋼構造物の高力ボルトの締付けについて設計上要求する軸力等の性能を満足することを確認する。高力ボルト締付検査において要求する性能を確認する検査は、以下を標準とする。

#### (1) トルシア形高力ボルト

- ① 現場予備試験は、「道示Ⅱ17.9.1 高力ボルト施工一般～17.9.5 締付け完了後の検査」によるものとする。
- ② トルシア形高力ボルト締付検査は、ボルト予備締め後のボルト、ナット、座金および部材表面にわたるマーキングのずれおよびピンテールの切断の有無を目視によって全数確認する。

### 5 報告

受注者は検査完了後速やかに検査結果を監督員に報告するものとする。

## 第8条（橋梁補修工）

### 1 ひび割れ補修工

#### (1) 品質規格

ひびわれ注入材はエポキシ樹脂系材料を標準とし、次表を満足するものでなければならない。注入材の規格は「2種」を標準とし、ひびわれ進行レベルに応じて、適宜選定し、監督員の承諾を得るものとする。

エポキシ樹脂系ひびわれ注入材の品質規格

項目		単位	1種	2種	3種	試験方法	
ひびわれ進行区分		—	進行度 A	進行度 B	進行度 C	—	
ひびわれ幅		mm	0.2～5.0	0.2～5.0	0.2～5.0	—	
未硬化の注入材	粘度(×10 <sup>-3</sup> )※	Pa・S	1,000 以下	—	1,000 以下	JIS K 6833	
	チキソトロピック係数※注1)	—	—	4.0±1	—	JIS K 6833	
	可使時間※注2)	min	30 以上	30 以上	30 以上	温度上昇法注3)	
	収縮率	%	3.0 以下	3.0 以下	3.0 以下	JIS A 6024	
硬化した注入材	伸び率	%	—	50 以上	100 以上	JIS K 7161 JIS K 7162	
	モルタル 付着強さ	乾燥面	N/mm <sup>2</sup>	6 以上	6 以上	6 以上	JIS A 6024
		湿潤面	N/mm <sup>2</sup>	3 以上	3 以上	3 以上	JIS A 6024
	付着力耐久性保持率	%	60 以上	60 以上	60 以上	JIS A 6024	

#### ひびわれ進行区分

進行度 A：日変化または温度変化によるひびわれの挙動および構造に起因するひび割れの発生を対象とし、異常なひびわれ幅の進行がないもの。

進行度 B：完全にひびわれの進行が止まった保証が得られない場合。

進行度 C：ひびわれ幅が増加している場合。

注1)チキソトロピック係数とは液状試料の揺変性の程度を表す。試験方法は JIS K 6833 を準用

し、同一ローターでの 2rpm における粘度と 20rpm における粘度の比をチキソトロピック係数とする。

注 2)機械式注入工法の場合は、可使時間の規定は適用しない。

注 3)温度上昇法とは、混合物の試料 300g を 500 cc のポリ容器に採取し、試料の中央部に温度計または熱電対温度計を設置し、一定時間ごとに試料の発熱温度を測定する。測定開始時間は混合開始からとする。発熱温度が急激に立ち上がる試料は、その立ち上がり時間の 70% を可使時間とする。発熱温度の急激な立ち上がりのない試料は、最高発熱温度到達時間の 50% を可使時間とする。

※ これらの項目については、施工条件等を勘案の上、必ずしも基準値を満足する必要がないものと判断される場合には、参考値として取り扱うことができるものとする。

## (2) 施工

- ① ひびわれ注入材の取り扱いに際しては安全対策に注意すること。材料の種類によっては溶剤を含むものがあり、火気に対する安全・衛生(換気等)に注意する。エポキシ樹脂等科学反応形の材料には皮膚への刺激等があるので、保護具を使用すること。
- ② ひびわれ注入材の保管は直射日光を避け冷暗所で行うこと。
- ③ 施工時の温度により可使時間が変化するので十分注意すること。可使時間を過ぎた材料は使用してはならない。
- ④ 二液タイプの材料は、主剤と硬化剤の適正な混合量を守り混合攪拌を正しく行うこと。一度混合した材料は残らないよう使い切り、混合する前の使い残したものは密閉して保管する。
- ⑤ ひびわれ注入材が所定の強度を発現するまで、雨水の進入防止、適正な温度管理、衝撃の防止等、適正な養生を行わなければならない。
- ⑥ 施工中に雨のかかる場所での作業は、中止するかシートをかけ養生して行うこと。
- ⑦ ひびわれ注入材は原則として 5～30℃ の範囲内で使用すること。気温が低下すると硬化が著しく遅くなるので(常温で 1～2 日養生)、5℃ 以下では必要温度を確保するよう適切な処置を行い施工しなければならない。
- ⑧ コンクリート表面にレイトンス、塵埃、油脂類、塩分等が付着し、脆弱部があると、ひびわれシール材の接着性能に悪影響を及ぼすことになるため、これらの有害物は完全に除去しなければならない。
- ⑨ コンクリート表面が濡れて、湿っている場合には、ひびわれシール材の接着性能に悪影響を及ぼすことになるため、コンクリート表面の含水率は高周波水分計で 8% 以下であることを確認しなければならない。
- ⑩ 材料を使用する前に、その種類や配合が仕様書を満足していることを確認しなければならない。
- ⑪ 材料の使用量は、空き缶数量検査等により標準使用量を満足しなければならない。
- ⑫ 工程ごとに使用した材料の所定の硬化(固化)状況を確認した後でなければ、次の工程に移ってはならない。

## 2 断面修復工

### (1) 品質規格

断面修復材は次表を満足するものでなければならない。

左官工法による断面修復材の品質規格

試験項目	試験体の履歴条件	基準値	試験方法
硬化時間 ※	—	固化時間は1時間以上であること。	JIS R5201
断面修復材の外観(塗装なし)	温冷繰り返し試験後	均一でわれ、はがれ、ふくれのないこと。	JIS A6909
硬化収縮性		硬化収縮率は0.05%以下であること。また、硬化に伴う発熱による反りかえりがないこと。	JIS A1129-3
熱膨張性	硬化収縮試験後	断面修復材の熱膨張係数は、 $2.0 \times 10^{-5}/^{\circ}\text{C}$ 以下であること。	JIS K6911
コンクリートとの付着性	湿潤時	コンクリートと断面修復材との付着強度は1.5N/mm <sup>2</sup> 以上であること。	JIS A6909
	耐アルカリ試験後		
	温冷繰り返し試験後		
塗装塗膜との付着性	温冷繰り返し試験後	塗膜と断面修復材との付着強度は、1.0N/mm <sup>2</sup> 以上であること。	
圧縮強度	—	強度24N/mm <sup>2</sup> 以上であること。	JIS R5201

※ この条項については、施工条件を勘案の上、必ずしも基準値を満足する必要がないものと判断される場合には、参考値として取り扱うことができるものとする。

(2) 施工

① モルタル工

使用する材料は、施工時の天候、温度、湿度、修復面の状態、塗り間隔等に適したものでなければならない。

② コンクリート表面にレイトンス、塵埃、油脂類、塩分等が付着していたり、脆弱部があると、プライマーの接着性能に悪影響を及ぼすことが多いため、これらの有害物は完全に除去しなければならない。

③ レイトンスや付着塩分および脆弱部の除去は、一般にディスクサンダーやサンドブラスト等を使用して行い、塵埃の除去にはコンプレッサーで清掃するのが効率的である。

④ 油脂類の除去はシンナーで拭き取ることが一般的である。

⑤ コンクリート表面が濡れていたり、湿っている場合には、プライマーの接着性能に悪影響を及ぼすことが多いため、コンクリート表面の含水率は高周波水分計で8%以下であることを確認しなければならない。

⑥ コンクリートの表面温度が40°C以上であると、表面に塗布した材料が発泡したり、変質したり悪影響を及ぼすことが多いため、40°C以上の場合は作業を中止するか、日光を遮蔽するなどして40°C以下になってからでなければ作業してはならない。

⑦ 材料を使用する前に、その種類や配合が仕様書を満足していることを確認しなければならない。

⑧ 反応硬化(固化)する材料で、可使時間(固化時間または凝固開始時間)を超えた材料は使用してはならない。

⑨ 材料の使用量は、空き缶数量検査等により標準使用量を満足しなければならない。

⑩ 工程ごとに使用した材料の所定の硬化(固化)状況を確認した後でなければ、次の工程に移ってはならない。

⑪ 断面修復部においては、ハツリ端部の形状がフェザーエッジとならないよう10mm程度の Cutter 目地を入れた後にハツリ作業を行うものとする。

### 3 鉄筋防錆材

#### (1) 品質規格

防錆処理材の規格は次表を満足するものでなければならない。

要求性能	試験項目		基準値	試験方法
防錆性	防せい性試験	処理部	防せい率 50%以上	鉄筋コンクリート補修用防せい材の品質基準(案) <sup>注1</sup> を標準
		未処理部	防せい率 -10%以上	
鉄筋との付着性	鉄筋に対する付着強さ		7.8N/mm <sup>2</sup> 以上	
コンクリートとの付着性	耐アルカリ性		塗膜に異常が認められないこと	

注1) 日本建築学会 鉄筋コンクリート造建築物の耐久性調査・診断および補修指針(案)・同解説付1.3。

#### (2) 施工

ワイヤーブラシやサンドブラスト等で錆落としをした鉄筋は発錆しやすい状態にあるため、錆落とし後2時間以内を目途に鉄筋防錆材を塗布しなければならない。

また、使用する鉄筋防錆剤に適した使用方法で施工し、均一に塗布しなければならない。

### 第9条（工事の徹底周知）

- 1 請負者は、工事着手2週間前を目途として工事区間周辺に工事予告看板を設置するとともに、「工事のお知らせ」等のチラシを配布し、関係機関・周辺住民等に工期、通行止め等規制の期間及び現場責任者氏名並びに連絡先等の周知を図らなければならない。
- 2 請負者は、夜間工事又は通行規制等(以下「夜間工事等」という。)を行う場合及び必要がある場合には、事前に監督職員の承諾を得ること。また、着手前に「夜間工事等のお知らせ」等のチラシを配布し、関係機関・周辺住民等に夜間工事等の周知を図らなければならない。また、夜間工事のみでなく工事全般において、騒音や振動等の住民からの苦情がないように勤めるとともに、苦情が発生した場合は誠意をもって請負者において処理するものとする。
- 3 上記チラシ等について、関係機関・周辺住民等へ配布後、記載内容に変更が生じた場合は、速やかに再配布するものとする。
- 4 配布先については、監督職員と協議すること。

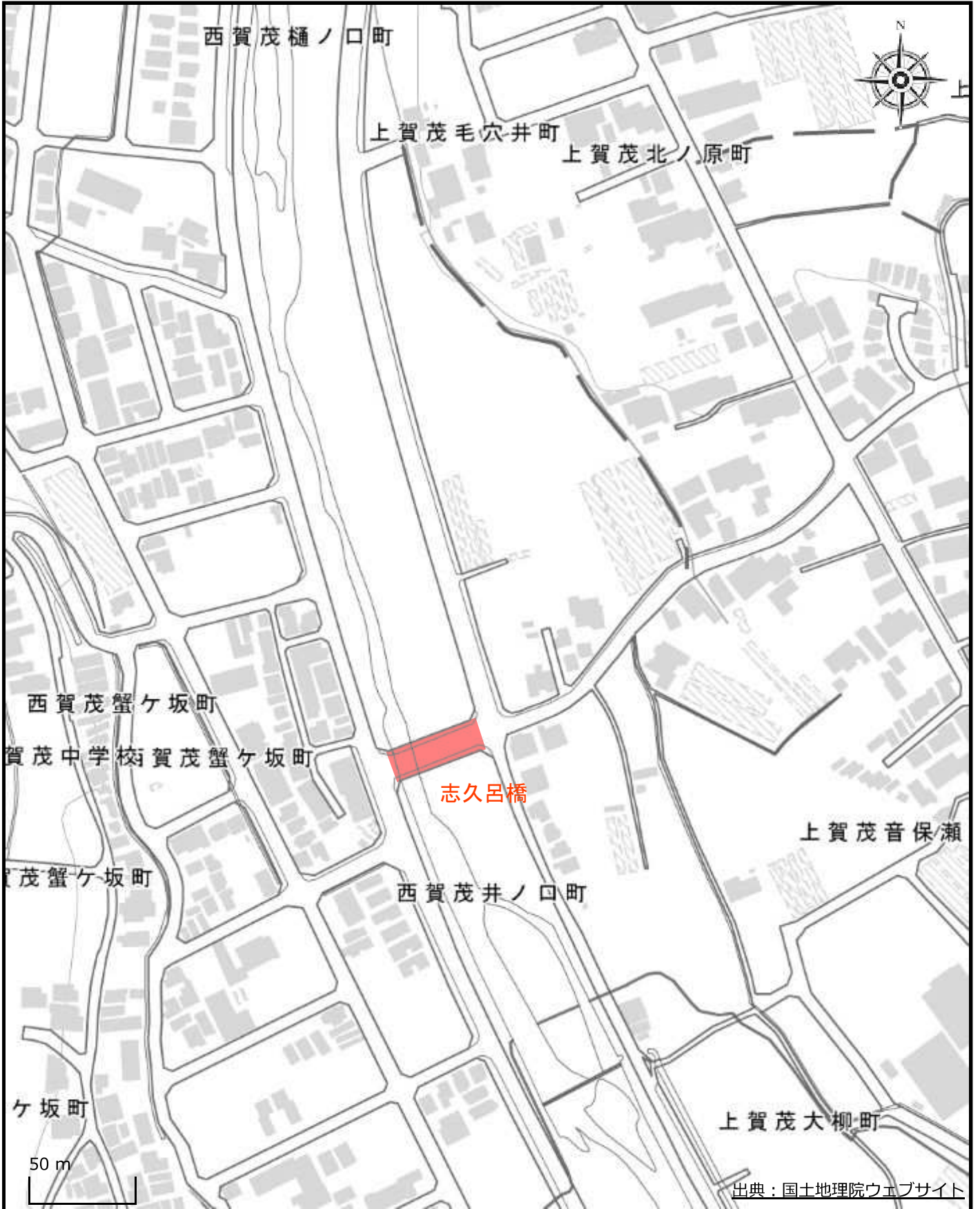
### 第10条（その他特記事項）

- 1 請負契約決定後直ちに本市担当職員(以下監督職員という)に連絡し着工日の指示を受けるとともに、着工までに施工計画を立案し、監督職員の承認を受けすること。
- 2 工事関係車両を長時間、現場付近及び沿道に待機させてはならない。
- 3 本工事施工期間中、現場代理人は昼夜を問わず常時連絡が取れる体制を取ること。
- 4 隣接する地元関係者(官公庁等も含む)との協議、施工区域、施工時間、施工日等に関する事項については、請負者の独自の判断で施工してはならない。必ず監督職員に報告し確認を受けること。
- 5 他の企業者・事業者工事と本工事とが影響する場合は、工程計画等について十分調整を図るとともに監督職員の指示に従うこと。
- 6 工事に支障となる添架物または障害物がある場合は、関係機関と協議し、撤去または移設しなければならない。添架物の施工中の養生方法については、施工者の責において占有企業者と十分に調

整すること。また、関係機関との協議に必要な資料を作成し、協議により了解を得てから施工を実施すること。

- 7 本工事着手に伴い、河川管理者等との協議に必要な資料について、事前に作成し、協議により了解を得てから施工すること。
- 8 請負者は、施工に際して民有又は官有の施設を破損した場合は、請負者の費用負担で現状に復旧しなければならない。
- 9 道路の規制については、関係機関等と十分協議のうえ、規制計画を策定すること。歩行者、自転車等の安全に十分配慮して計画すること。
- 10 本工事において、交通供用状態下での既設部材に対して補修・補強を行うため、作業手順に留意し、第三者災害が生じないように十分な安全対策を図ること。
- 11 施工前に躯体の実寸法等を測定し、設計図面との相違を確認すること。相違がある場合、実寸法を正として、設計に反映させなければならないため、監督員と協議を行うこと。

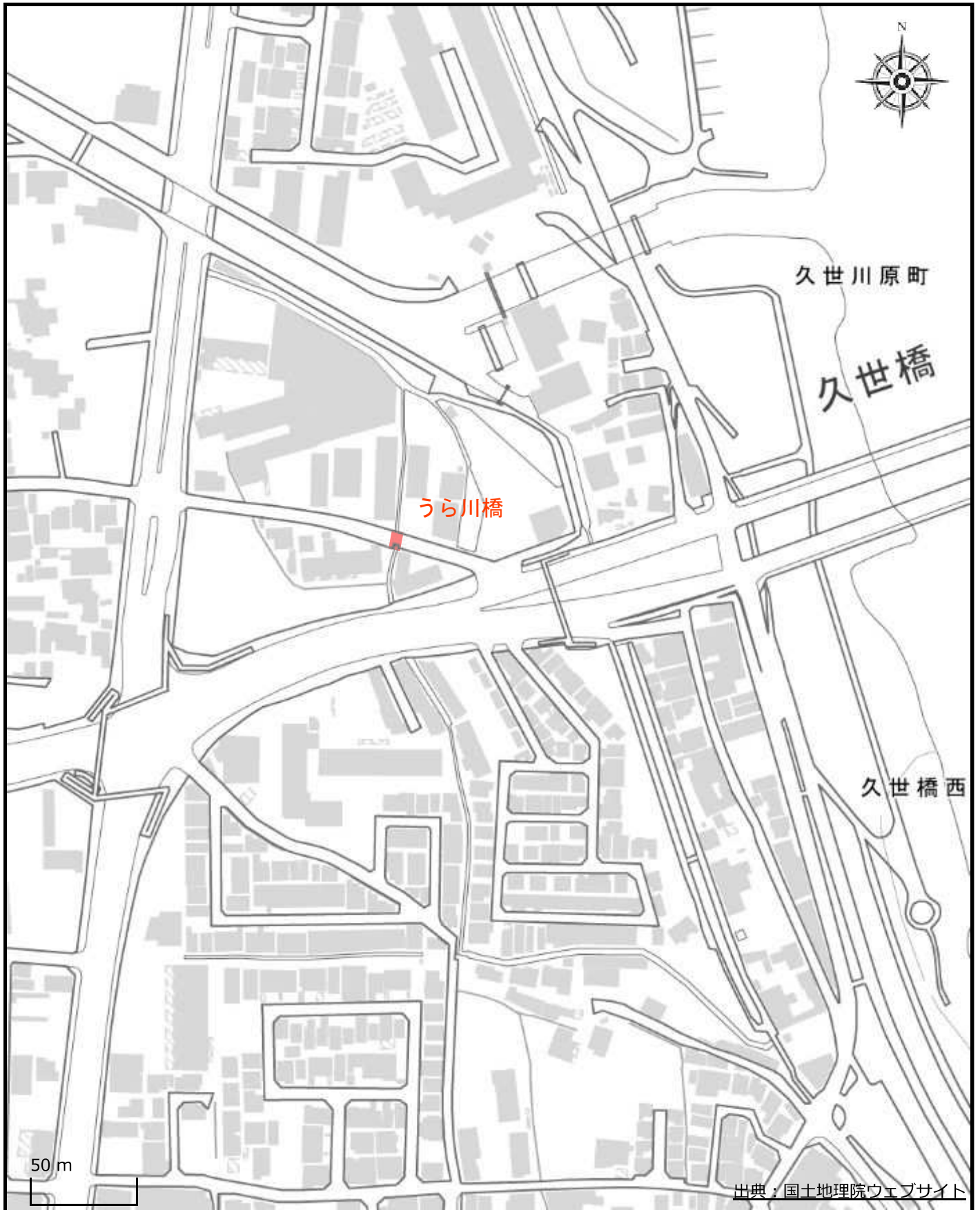
# 位置図



1 / 2500

橋梁名：志久呂橋  
場所：京都市北区上賀茂毛穴井町  
路線：主要府道京都広河原美山線  
交差物：一級河川鴨川

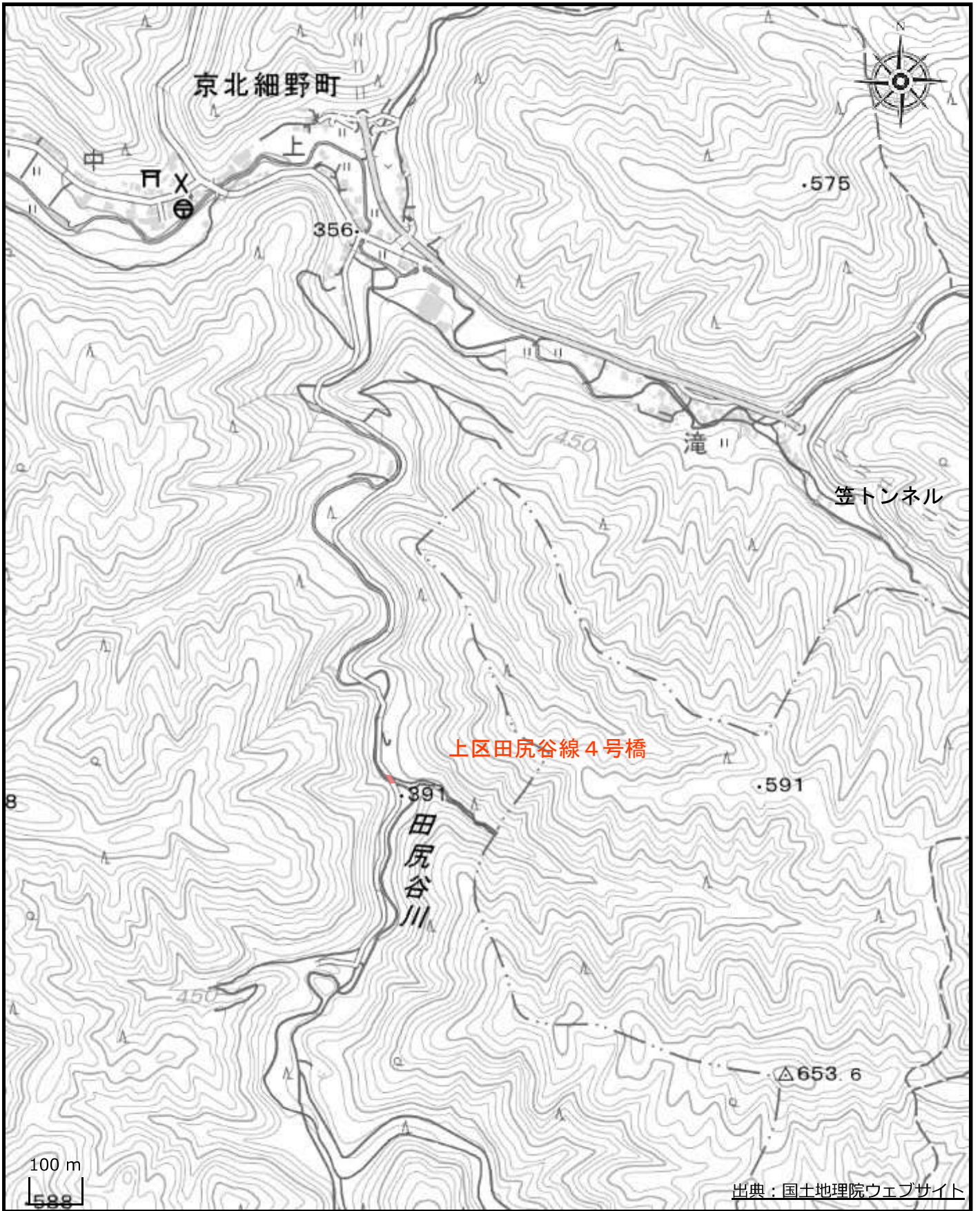
# 位置図



1 / 2500

橋梁名：うら川橋  
場所：京都市南区久世河原町  
路線：一般府道中山稻荷線  
交差物：水路

# 位置図



1 / 10000

橋梁名：上区田尻谷線 4号橋  
場所：京都市右京区京北細野町二ツ橋  
路線：一般市道上区田尻谷線  
交差物：普通河川田尻谷川